

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まかるんキッズ舞松原教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 11日		～ 令和7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 22日		～ 令和8年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による、児童に合わせた運動プログラム。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりと発達支援を科学的根拠に基づいて設計している。 ・個々に合わせた運動プログラムを通じて、自信や成功体験を育み集団行動や協調性の育成に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討や日々の活動の様子から、支援内容の見直しを職員間で共有する。
2	ソーシャルスキルに対する支援内容。	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わり方やコミュニケーション能力向上を意識したプログラムを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「順番を待つ」「相手に気持ちを伝える」など、児童に合わせた段階別の到達目標を設定し、日々の活動の中で意識的に声かけを行う。
3	児童の様子について保護者と情報共有を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳や送迎時の申し送りの際に、その日の児童の様子を報告している。 ・LINEや電話のみだけでなく希望に応じて対面にて相談を受けアドバイスをを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に了承を得た上で、職員間での情報共有の徹底。 ・相談を受けた職員が返答出来ない場合には事業所へ持ち帰り、職員間で検討した後改めて連絡をすることの徹底。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の幅を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・言語療育や他のアプローチ方法に対する専門性の低さ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童への声かけや関わり方を職員間で統一し、複合的な発達支援につなげる。
2	専門性に偏りがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種が在籍している為、様々な視点を持って支援を実施出来る利点がある一方で、1人1人の専門性に偏りが生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な内部研修や外部研修への参加。 ・日々の支援を振り返るミーティングを通じた学びの共有。
3	外部連携(病院・学校)。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部と交流する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関を利用している時の児童の様子等、互いに情報交換を行う事で連携の必要性を高め、関係性を深めていく。